

National Trust

New Areas

しずかり
静狩湿原トラスト
所在地：北海道山越郡長万部町



北海道最南端の高層湿原である静狩湿原のエリアにある原野を、自然環境を守るために活用してもらえればと、11月27日、岩手県にお住まいの方よりご寄付いただきました。「静狩」という地名が、アイヌ語の「山の手前、行き止まり」に由来するとおり、静狩湿原はオタモイ山のふもとに広がっています。大正時代には国の天然記念物に指定されましたが、戦後の農地開拓の要請により昭和25年に解除され、約800ヘクタールあった湿原はわずか34ヘクタールとなりました。今回のトラスト地取得を、この貴重な湿原の保全につなげていきたいと思えます。

新刊のご案内



この度、2015年4月に施行された地域自然資産法の解説本が発行されました。法律制定の背景や経緯、入域料やトラスト活動による地域の自然環境の保全について解説されています。当協会は第5章の「トラスト活動の具体的な事例」を担当し、4カ所の活動事例(天神崎、しれとこ100平方メートル運動、歌才湿原トラスト、アマミノクロウサギ・トラスト)を紹介しています。

地域自然資産法の解説
編著：盛山正仁 資料提供：環境省
出版社：ぎょうせい 定価：2,900円＋税

両神山トラスト
チャリティ
記念切手シート
のご案内 [予告]

2015年9月の両神山トラスト取得を記念して、オリジナルの記念切手シートを作成中です。販売は2016年2月以降を予定しています。販売時期、申込方法など詳細が決まりましたら、お知らせいたします。

両神山トラスト内には登山道があったり、これまで私有地であったため動植物の調査や石仏等の歴史文化的な調査があまり行われていなかったりするため、トラスト地の現況調査や今後の維持管理方針についての検討が必要になってきます。チャリティ切手の売上げは、両神山トラストの維持管理等の資金として使わせていただきます。



アマミノクロウサギ・トラストの近況

10月13日、奄美大島のアマミノクロウサギ・トラストの一部で地籍調査が行われ、土地の所有者として境界立会に行ってきました。この調査は、国土調査法に基づいて瀬戸内町が行う土地の実態調査で、一筆ごとに土地の境界を明確にして、明治時代以来の登記簿と地図を修正するものです。

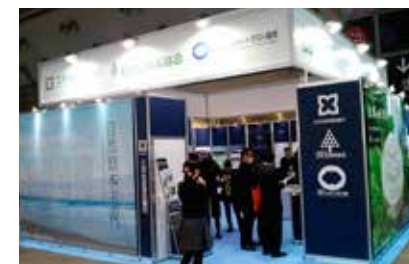


現地調査の様子

アマミノクロウサギの糞を近くの林道で発見！

エコプロダクツ2015に
出展しました

東京ビッグサイトで12月10日(木)～12日(土)にかけて開催された日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2015」に、三井住友信託銀行、日本生態系協会と共同で出展しました。水や大気、土壌、生物多様性から構成される「自然資本」は、金融の世界でも重視され始めています。ブースでは、金融機関がナショナル・トラストへの支援を通じて自然資本を確実に守る取り組みや、生物多様性の定量評価手法(JHEP)を活用した建築やまちづくりのコンサルティング等について紹介しました。



全国大会のご案内

第33回ナショナル・トラスト全国大会は、2016年2月27日に開催いたします。NPO法人「日本で



最も美しい村」連合の杉一浩常務理事をお迎えし、日本の美しい風景を守り、活かす方法を考えます。皆様のご参加をお待ちしています。
日時：2016年2月27日(土)14:00～
場所：日比谷図書文化館B1Fコンベンションホール(東京都千代田区)
※全国大会への協賛を募集しています。企業の皆様には広告協賛の形で、会場に掲示する看板等に企業名を記載します。詳しくは事務局へお問い合わせください。

エポスカードがトラスト
活動を応援



マルイグループのクレジットカード事業会社である株式会社エポスカードが、11月より、ナショナル・トラスト活動を応援する環境・社会貢献活動を開始しました。カード会員の皆様が、同社の展開する「ご利用明細Net照会サービス」に新規登録されると、1人あたり2円が当協会に寄付されます。

「ご利用明細Net照会サービス」は、ご利用明細の郵送をストップし、お支払予定額などをネットでの確認に変更するサービスです。ペーパーレスで環境にやさしく、ご利用明細を1通削減すると約500グラムのCO2排出を削減できます。

社会貢献型の自動販売機
を設置

この度、コカ・コーライーストジャパン株式会社と連携して、新たに株式会社イシクラ(本社：埼玉県さいたま市岩槻区)に社会貢献型の自動販売機を1台設置していただきました。卒業アルバム等の制作を行っており、紙を多く使う業種であることから、自然環境を守る分野で社会貢献活動に取り組みたいということでお申し出をいただきました。

当協会では引き続き、このような社会貢献につながる自動販売機の設置先を募集しています。

確定申告のための準備
はお済みですか？

賛助会費やご寄付は、寄付金控除の対象になります。確定申告の際に当協会発行の領収書を添付してお手続きください。

※領収書はご入金後1週間ほどお手元に届くようお送りしています。

公益社団法人
日本ナショナル・トラスト協会
〒171-0021
東京都豊島区西池袋2-30-20
音羽ビル
Tel.03-5979-8031
Fax.03-5979-8032

2016年1月発行 禁無断転載

ナショナル・トラスト

歌才湿原トラスト 目標達成のご報告

静狩湿原トラスト
両神山トラスト チャリティ記念切手シートのご案内
アマミノクロウサギ・トラストの近況

歌才湿原 トラスト

UTASAI SHITSUGEN TRUST

目標達成のご報告

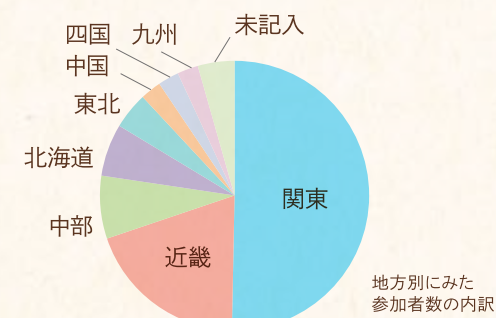
ご支援ありがとうございました

7月からキャンペーンを開始し、12月に目標の500万円を達成することができました。寄付総額は、518万9,800円でした。ご支援いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

本キャンペーンには、151人の個人と17の企業・団体にご参加いただきました。また、住宅エコポイントと省エネ住宅ポイントを通じたご寄付も使わせていただきました。

参加者数を地方別にみると、関東地方が最も多く(87人)、次いで近畿地方(31人)、中部地方(13人)という状況でした。また、個人の参加者のうち約80%が、個人賛助会員やアマミノクロウサギ・トラスト・キャンペーンなどを通じて過去にご寄付いただいた方々でした。皆様、新聞記事やインターネット上の掲示板、当協会のホームページやリーフレット、黒松内町役場からのご案内など、様々なところで本キャンペーンのことを知り、ご参加いただいたようです。

当協会は、皆様から託されたご寄付を歌才湿原の豊かな自然にかえて、共有者の黒松内町と連携しながら将来世代に引き継いでいきます。



トラスト地のご紹介

北海道・黒松内町にある歌才湿原は、道内では最も貴重な高層湿原で、氷河期からのPEAT(泥炭)が積もる貴重な湿原です。2015年に入り、私有地であるこの湿原を恒久的に守るため、土地購入額の10分の6を黒松内町が、10分の4を当協会が出し合って取得することになりました。地方自治体とトラスト団体が自然環境の保全を目的として共同で土地を購入し、共有の登記を行うのは国内のトラスト活動で初めてです。



黒松内町

人口 3,018人 (2015年11月末現在)
札幌市と函館市のほぼ中間点。
温帯の樹木であるブナの北限で、「北限ブナの里づくり」に取り組んでいる。
日本で最も美しい村連合に加盟。
にほんの里100選や重要里地里山(環境省)に選ばれている。

所在地:北海道寿都郡黒松内町字豊幌
面積:54,999㎡(約5.5ヘクタール)
地目:原野



歌才湿原の重要性

タイムカプセル

PEAT(泥炭)の防腐作用により植物や動物の遺骸が保存されやすく、2万4000年間の気候や環境を記憶する貴重なタイムカプセルとなっています。
*PEATとは枯れた植物が積もってきたもので、国内では主に北海道に分布しています。家庭用の燃料やウイスキーの香り付けなどに使われてきました。

ミズゴケの湿原

貧栄養の環境を好むミズゴケなどの貴重な植物が生育する「高層湿原」。道内でも最も古い湿原のひとつで、環境省の「日本の重要湿地500」にも選定されています。

早急な対策が必要

湿原の乾燥化が刻々と進んでおり早急な対策が必要。
私有地は立ち入り等の制約がありますが、公有地やトラスト地になれば迅速な対応が可能になります。

道南で希少

道南は開拓の歴史が古いため、歌才湿原のように良好な状態が保たれている湿原はほとんどありません。

キャンペーン概要

会員をはじめ全国の皆様に呼びかけて、歌才湿原の土地購入資金を募る寄付キャンペーンを実施しました。

- 期間** 2015年7月~12月
- 目標金額** 500万円(500口)
- 参加対象** 個人・企業
- 参加方法** 一口1万円から任意の口数をご寄付いただきました。
- 寄付金の使途** 当協会が歌才湿原の持分10分の4を取得するための土地代金(400万円)のほか、調査費、将来にわたる湿原の維持管理費に使います。



1万円ですべての1000㎡の湿原を守る

1万円ですべての1000㎡の湿原を守ることは、100平方メートル(10m×10m)です。歌才湿原は2万4,000年かけてつくられた古い湿原で、地下には、その過程でつくられた10mもの厚いPEAT(泥炭)が堆積しているのが特徴です。1万円で、地下10mのPEATも合わせて10m角の湿原を守ることができます。



ご寄付いただいた方々

五十音順

法人・団体

公益財団法人柿田川みどりのトラスト有志、株式会社創建社、ダイシン設計株式会社、株式会社田中組、株式会社道測テクニス、日本メディカルシステム株式会社、橋本電気工事株式会社、はちのへ小さな浜の会、税理士法人福田・安齋事務所、税理士法人報徳事務所、株式会社マガジマート、三井住友信託銀行札幌・札幌中央支店

個人

小山正人様、園田愛美様、所一典様、野口拓史様、広瀬祐司様、福原卓也様ほか145名の皆様
2015年度の住宅エコポイントと省エネ住宅ポイントを通じてご寄付いただいた皆様

リーフレットの配布協力

青山学院高等部、一般財団法人泉佐野みどり推進機構、雲仙観光ホテル、黒松内町の各施設、国立科学博物館、薩摩英国館、NPO法人ザ・ナショナル・トラストサポートセンター、大東文化大学ピアトリクス・ポター資料館、ナチュラルメディカル株式会社、日本基督教団西片町教会、日本メディカルシステム株式会社、三井住友信託銀行(川西支店、札幌・札幌中央支店、虎ノ門コンサルティングオフィス、名古屋栄支店、難波中央支店、福井支店、本店営業部)

JALグループの株式会社北海道エアシステム(HAC)には、丘珠空港~函館空港などの北海道の路線で約1ヶ月間、機内でのアナウンスとシートポケットへのリーフレット搭載をしていただきました。

参加者の声

ご寄付いただいた皆様から多くの応援メッセージが寄せられました。当協会にとって大きな励みになるとともに、皆様からの大切なお金を預かって歌才湿原を守る責任の大きさに、改めて身が引き締まる思いです。

今後もトラスト活動に奮闘してください!

未来の子供達の為に、又、地球の為に活動が頑張ってください。

寄付金の使途

皆様からお寄せいただきました寄付金(518万9,800円)の8割は、歌才湿原の土地購入代金(400万円)として使わせていただきました。その他、現地調査の旅費交通費、リーフレット等の印刷製本費、通信運搬費等の事務費としてこれまでに21万円使用し、残りの寄付金は、今後、看板設置費や湿原の維持管理等に使わせていただく予定です。

今後の予定

変更することなく湿原のまま保存し、将来世代に引き継ぎます。湿原が乾燥化している部分等については黒松内町や研究者等と連携して対策を行っていきます。その他、自然環境の調査や環境教育、エコツアーのフィールドとしての活用も検討していく予定です。